


事業名	自然体験活動指導者養成研修Ⅱ ＜渡嘉敷会場＞	
実施期間	平成23年11月12日(土)～13日(日)	
担当者	企画指導専門職 赤嶺 智郎	

I 事業の趣旨

「小学校の長期自然体験活動」において、教育効果の高い自然体験活動等の機会を提供するために、青少年の健康、安全等生活に関わる指導や青少年の体験活動の指導を行う指導者を養成する。

II 事業の概要

1 事業の目的

実践力のある自然体験活動指導者を数多く養成し、小学校で今後実施される長期自然体験活動の教育効果が高まることを目指す。

2 参加対象及び募集人員

小学校が実施する長期自然体験活動において、自然体験活動指導者として活動・協力することに興味関心のある方30名（18歳以上）

3 参加状況 38名

社会人28名、大学生10名

4 実施上の留意事項

- (1) 研修修了者に対して、自然体験活動全体導者認定を行い修了証を発行する。
- (2) 自然体験活動補助指導者の資格を有するか、ボランティア研修を受講した者が本研修を受講することが出来る。

5 活動の様子

1日目＜11月12日(土)＞

(1) プログラムの企画立案

「学校で自然体験を進めるために」

講師：相澤敬二（本所主任企画指導専門職）



《プログラムの企画について講義からスタート》



《グループごとに自然体験のプログラム作り》



《参加者同士で意見交換しながらの作業》

(2) 体験活動の指導法

「学校レク」

講師：安里恒男 氏

(県立総合教育センター指導主事)



《安里先生より「学校レクとは」》



《レク実技「触ったのは誰でしょう」》



《レク実技「進化じゃんけん」》

(3) 自然体験活動の技術

「星座観察の技法と指導法」

講師：岩元慶吉 氏 (本所研修指導員)



《大型望遠鏡を使って「月の観察」》

(4) プログラムの企画立案

「ふりかえりのプログラム」

講師：赤嶺智郎 (本所企画指導専門職)



《ムービーメーカーを利用したふりかえりの方法》

2日目<11月13日(日)>

(4) 体験活動の指導法②「海洋研修」

講師：赤嶺智郎（本所企画指導専門職）



《海洋研修における「セーフティートーク」》



《海洋研修「スノーケリングの応用」エリア外へ》

(5) 自然体験活動の技術

「海と山のクラフト」

講師：照屋寛信 氏



《海洋研修「大型カヌー」》



《照屋講師より海のクラフト「写真立て」の説明》



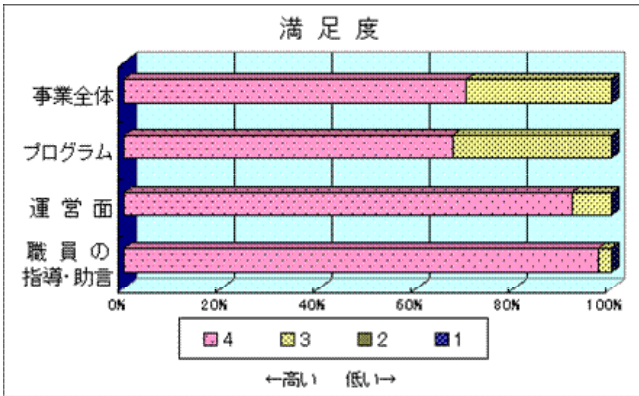
《海洋研修「スノーケリング」まずは、基礎から》



《自分の好きな渡嘉敷写真で作成》

6 アンケートの結果

(1) 満足度



(2) 参加者の声

<良かった点>

- すごく楽しかった！だけでなく、企画や海への注意トークの仕方など、全体をまとめるための考え方や話し方など、学ぶこともできたのが良かった。
- クラフトから海、企画立案等、幅広く教えてもらった。
- 教育関係者、大学生、人々とのつながりができ仲間になれた。自分のスキルアップにもつながった。
- 最初に仲良くなる方法を学び、晴れの日、雨天時の双方の活動方法を学べてよかった。
- 悪天候時などの場合、直前含め、親切にメール連絡をいただけて助かった。
- 安全のことや、グループ活動のときの注意点が詳しかった。

<改善すべき点>

- ▲満足だったが、マリン活動がもっとできたら良かった。その他の活動も行いたかった（野外炊飯等）。
- ▲休む時間や交流の時間がもう少しほしかった。
- ▲2泊3日でゆっくりひとつひとつを身につけたい。
- ▲2泊3日から1泊2日になったのでしょがないが、やっぱりもう少し時間をかけてほしかった（講義など）。

III 成果と課題

1 事業の成果

- (1) 自然体験活動指導者としての基本的な内容からより踏み込んだ内容を習得できた。
- (2) 自然体験活動に興味関心のある方々の情報交換の場となり、指導者間の連携のきっかけとなった。（研修終了後も自主的に集まりを持つ程に連携を深めている）
- (3) 実践的な実技・実習を中心に計画した研修だったので、参加者が楽しみながら実際に体験して技術を身につけることが出来た。

また、海洋体験は渡嘉敷のきれいな海で行い、参加者が感動していた。

2 今後の課題

- (1) 台風の影響で9月開催から11月開催に変更して行った。3日間での日程がとれず、当初2泊の予定を1泊で行ったため、日程的に厳しい内容となった。
来年度は、講習内容を厳選して当初から1泊で計画し、悪天候の場合は変更しやすいように計画していきたい。
- (2) 受講者は増えたが、今後は、これら指導者の積極的な活用や更なるスキルアップの場を提供する必要がある。

IV おわりに

今回、悪天候のため研修日程を変更して実施した。そのため、参加できない方が出たり、日程が過密になったりした。しかし、自然体験の専門講師による実践的な講義に、参加者が積極的に受講したため内容の濃い研修となった。

また、県内の自然体験活動に関わっている方々の交流のきっかけとなり、研修後も情報交換会を立ち上げるに至っている。

今年の反省を生かし、自然体験の高い技能と意欲ある指導者をさらに育成する研修会を、今後も作り出していきたい。

